

2018年5月30日

経済産業省「IT経営注目企業2018」に選定されました

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社（取締役社長 グループCEO：柄澤 康喜）は、当社グループの取り組みが高く評価され、経済産業省による「IT経営注目企業2018」に選定されました。

当社では中期経営計画「Vision 2021」において「デジタルイゼーション*の推進」を重点戦略として掲げ、「顧客体験価値の向上」と「業務生産性の向上」を目的に取り組んでいます。今回はその推進策であるRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）・ブロックチェーンを活用した業務プロセスの改革や、AIによるお客さま対応サポート、テレマティクス技術を活用した自動車保険やウェアラブル端末を活用した健康経営促進型商品・サービスなど、先進的デジタル技術に対応した商品・サービスを提供している取組みなどが評価され、選定に至りました。

今後もCDO（チーフ・デジタルイゼーション・オフィサー）が中心的な役割を担ってグループ全体で「デジタルイゼーション」に取り組む、ビジネス全体の変革につなげ、持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。

※デジタル技術によるプロセス・サービス等の効率化・利便性向上にとどまらず、当社グループのビジネス全体の変革につなげる取組み

1. 「IT経営注目企業」について

「IT経営注目企業」は、経済産業省と東京証券取引所がITの活用による企業の製品・サービス強化やビジネスモデル変革を通じて新たな価値の創出や競争力の強化に戦略的に取り組んでいる企業を表彰している「攻めのIT経営銘柄」に加え、攻めのIT経営に関する重要なテーマについて、注目すべき取組みを実施している企業を経済産業省が選定するものです。

2. 当社の選定について

「顧客体験価値の向上」と「業務生産性の向上」を目的に、グループ全体で共有する推進基盤を構築し、以下の「デジタルイゼーション」推進策に取り組んでいることが評価されました。

「業務プロセスの改革」

保険会社と関連会社との最適な役割分担を追求しながら、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）・ブロックチェーン活用等により契約・保険金支払事務をデジタル化し、業務の効率化を実現

「チャネル競争力の高度化」

AIによる代理店とお客さまの対応サポート、デジタル技術を活用したお客さま接点の強化、ビッグデータ分析強化等によりマーケティングの高度化を実現

「商品・サービスのデジタル対応」

テレマティクス技術を活用した自動車保険やウェアラブル端末を活用した健康経営促進型商品・サービスなど、先進的デジタル技術に対応した商品・サービスを提供

デジタルイゼーションの推進



【当社ホームページ】

・中期経営計画「Vision 2021」 http://www.ms-ad-hd.com/ja/group/strategy/management_plan.html

MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社について

MS&ADホールディングスは、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社などのグループ保険会社を有する保険持株会社です。グローバル市場での業界トップ水準の保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を実現する価値創造企業として、世界 47 の国・地域で事業展開しています。未来のあるべき姿を目指し、ステークホルダーの皆さまと、社会的な価値の共創に取り組んでいます。

当社グループのミッションである「安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来」を目指し、快適なモビリティやレジリエントなまちづくりの実現に取り組んでいます。社会と新たな価値を創造するために、最新の技術を駆使して、新しい時代の安心と安全をグローバルに提案していきます。

www.ms-ad-hd.com